

## 4. 農業機械の省エネ対策

### 1. 保守点検

#### 1) エンジンの保守点検

- (1) エアクリーナーを定期的に清掃・交換する。
- (2) エンジンオイル、エンジンオイルフィルターを定期的に交換する。

#### 2) 動力伝達部の保守点検

- (1) 潤滑油を適正に管理する。
- (2) ベルト及びチェーンの張りを適正に管理する。

#### 3) 走行部の保守点検

- (1) タイヤの空気圧を適正にする。
- (2) クローラを適切に管理する。

#### 4) 作用部の保守点検

- (1) トラクター作業機の土壌作用部を適切に管理する。

#### 5) エアコンの保守点検

- (1) エアコンフィルターの清掃をこまめに行う。



エアクリーナー清掃



空気圧点検

### 2. 運転・作業

#### 1) トラクター作業時の留意点

- (1) 適正なエンジン回転で作業する。
- (2) 適正な走行速度で作業する。
- (3) ロータリー耕等のPTO駆動作業では、適正なPTO速度で作業する。
- (4) プラウ耕等のけん引作業では、車輪の滑りが大きくなるようにする。
- (5) 適切な土壌水分時に作業する。
- (6) 移動時はアクセルペダルでエンジン回転を調節する。
- (7) けん引作業時や移動時には、PTOを切る。
- (8) 作業中断時にはエンジンを停止する。
- (9) 不要なときには、エアコンを使わない。

#### 取り組み事例

○30馬力級のトラクターで、同じ走行速度と作業条件で、エンジン回転を定格(2,600rpm)から1,800rpmに下げて作業すると、最大出力の50%程度の負荷の作業で約20%、20~30%程度の負荷の作業で約30%燃料消費量を節減できるという測定例があります。

